

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すわかこホーム		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援と放課後等デイサービスの事業を並行して行っているため、未就学児と就学児とのふれあいや交流が自然と出来ていて、小さい子供の面倒を見たり、優しく触れ合う事を子供同士で学んでいます。	地域との交流が行いにくいので、長期の休みの際には、地元の企業見学や工場見学を行っています。	公共交通機関を利用した外出経験。ボランティアさんを事業所へ招いて、音楽や紙芝居を聞く行事を取り入れていきたいと思っています。
2	肢体不自由児の利用もありますので、リハビリを家庭よりも多く行えています。病院でのリハビリよりも、日常生活の中で自然と身体を動かす事を学んでいます。	病院と違って、生活の中でリハビリを取り入れています。子供たちはリハビリの訓練ではなく、日常生活の中で必要となる動きを数多く経験することが出来ています。	子供たちに無理をさせることなく、自然と体で覚えていけるようにリハビリを取り入れています。
3	発達障害の利用者さんも、小集団の中で人との関わり方を覚えてきています。学校の様な大きな集団でも困らないように、少しずつ自分の対応力を身につけて来ています。	発達障害の利用者さんは、それぞれの特性がありますので、こちらで用意した内容ではなく、その日の様子でやりたい事に集中してもらっています。	小集団から少しずつ大きな集団生活に慣れるように、出来るだけ色々な人と関りが持てるような機会を作っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の人との交流をする機会がもてない。	子供たちの特性で、大きな音が苦手であったり、人見知りがあったりするので、どのような内容を企画すればよいのか難しい。	大きな音が出ない楽器演奏や、紙芝居、本の読み聞かせなどを行っているボランティアさんに依頼していく。
2	受け入れの年齢層が幅広いので、その日行う内容を決めてしまわずに、臨機応変に対応しています。そのため、個別支援の内容が「浅く広く」と言った状態になりやすいです。	固定プログラムがない事は強みと考えて、臨機応変に対応できるように職員が協力する必要があります。	職員が複数で関われる環境を整えていきます。
3	災害に対する訓練を継続していますが、ご家庭にその様子を伝えきれていなかったようです。	避難訓練の計画を各家庭に連絡していきます。	年2回の避難訓練を継続していきます。(洪水と地震)

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すわっこホーム

公表日 令和7年3月8日

利用児童数

令和7年2月22日

回収数

15/17

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14		1			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				欄間のほごりが気になりました。	日々の清掃に加え、1週間に1度は吹き上げを行うようにします。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				好きな事を尊重して対応してもらっています。他のみんなとも活動できるように、支援していただいています。	好きな事を尊重して対応してもらっています。他の皆とも活動できるように支援して頂いています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	1	7	よく知らない。大人たちの気持ちもあるので、必ず必要だとは言えない。	多集団活動が苦手な子供が多いので、現状では必要と考えていません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1		1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	2				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	2	2	こちらからお願いすれば機会を設けてもらえるので、それで十分だと思います。	参観できる月を設けて、活動を見に来てもらうように計画します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12		1	2	帰りの送迎の様子を伝えてもらっているため、行動を把握できています。日常的に必要な事を共有できています。	継続していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				職員の皆さんに非常に良い支援をして頂いていると思います。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	7	3	2	開催しない趣旨であることを理解しています。	保護者への負担を考慮して、父母の会の設置は行いません。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	3		3	急な利用時間変更にも迅速に対応していただいています。	相談に関しては、事前に日時の希望を提出していただき、予定を合わせて実施しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2		1	連絡帳はあるが、送迎の際にもう少し伺いたい。	送迎時間に他の利用者様がいる場合対応できないので、必要な場合は電話相談で対応します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11		1	3	ホームページの更新が止まっています。	定期的にホームページの更新を行います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	3	1	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	3		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2		2	子供が体調不良の時に迅速に対応していただきました。	体調確認を継続して、様子がおかしい時はすぐに連絡する体制を継続します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1			とても心の支えになっています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2			とても楽しみに通っています。帰ってくると良い表情をしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				親、子供共に十分満足しています。リハビリもやってもらっていて、成長できたと思います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すわかこホーム				公表日	令和7年3月8日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		ミーティングの時間が欲しい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2		一部の人が決めたルールがあり、意見が言いにくい雰囲気があります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	5		支援内容を知らされず、後から知ることがあり、情報共有をしっかりとる必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	2		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		施設の子供以外との交流が機械がないため、今後は工夫が必要。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	6		今後このような機会を設ける必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		地域住民と交流する行事はないが、散歩のときに挨拶は交わしています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			子供の手が届かないところにカギを設置した。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	2		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	2			